



公立大学法人 **富山県立大学**

## News Release

### 富山県立大学

○本事業に関するお問い合わせ：  
地域協働支援室  
統括コーディネーター 奥田 實  
電話：0766-56-7500（内線）633  
事務局教務課情報研究係 上田（内線）229

平成28年12月13日



### 学生による中学校でのプログラミング授業実施について

文部科学省の「地（知）の拠点整備事業（※1）」について、本学から申請した事業（『工学心』で地域とつながる『地域協働型大学』の構築（※2））が採択され、地域との対話・協働・交流による教育・研究・社会貢献の取組を進めているところです。

その一環として、プログラミングを学ぶ学生が、射水市立小杉南中学校の技術科におけるプログラミング授業を担当することとなりましたので、ご案内します。

- 1 開催日時 平成28年12月15日（木） 13:15～14:00、14:10～14:55
- 2 場 所 射水市立小杉南中学校 3階 コンピューター室  
射水市南太閤山1-2 Tel:0766-56-5077
- 3 内 容 プログラミングを学ぶゼミにおいて、学生が近隣の中学校と協働し、現在中学校の技術科で必修となっているプログラミングに関する授業を企画しました。今年10月より小杉南中学校の技術科担当 曾根先生と協議を重ねながら授業案を練り、この度2年生に対する授業を実施することとなりました。  
この授業では、プログラミングとは何かを知ってもらう目的で、「スクラッチ※」というソフトを用い、画面上に静止しているキャラクターに様々な動きをさせるプログラミングを実習します。  
小杉南中学校は本学から一番近い中学校で、昨年度から学生によるテスト前の放課後補習サポートなどの交流を重ねています。  
※マサチューセッツ工科大学（MIT）メディアラボで開発された、子供でも簡単にプログラミングを体験できるソフト。ウェブを通じて無料で誰でも使用できる。
- 4 対 象 小杉南中学校 2年生 全員
- 5 担当学生 情報システム工学科2年 トピックゼミⅡ受講生 9名
- 6 指導教員 情報システム工学科 中村 正樹 講師

※1 文部科学省「地（知）の拠点整備事業」について

「地（知）の拠点整備事業」（大学 COC 事業）」は、大学等が自治体と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的として、平成 25 年度新たに創設されたものです。

25 年度は、全国の各大学等から 319 件の申請があり、52 件が採択されました。

※2 『「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築』について

「富山県の発展を目指した県民の大学」という建学理念のもと、地域の課題に対して全学を挙げて取り組み、地域に役立つ技術者マインド「工学心」を持ち、地域課題を解決できる学生の育成を図るなど、「地域協働型大学」の構築を目指すものです。具体的には、例えば、少人数で行うゼミ形式の授業の中で、学生が多様な地域関係者と直接対話や交流などを行い、地域産業の振興や超高齢化社会への対応など解決が困難な課題について、地域関係者と一緒に考えます。

学生自らがその課題をとらえ、また、その課題の解決のためどう取り組めばよいかを学修することを通じて、主体的に課題解決する能力を持った人材の育成を目指しています。



富山県立大学

平成25年度「地(知)の拠点整備事業」

## 「工学心」で地域とつながる「地域協働型大学」の構築

地域に役立つ技術者マインド 「工学心」で地域とつながる全学的取り組み



### 「工学心」

人々の暮らしに役立つ「工学」、新しい高度な技術の創造への熱意

### 「地域とつながる」

- ・学生が積極的に地域と交流・対話・協働することにより、地域課題を肌で感じ、主体的に課題解決する能力の育成
- ・教員による地域志向の教育及び世界を目指す研究による地域との協働

### 「工学心」

大学  
(学生・教職員)



地域  
(自治体・地域団体  
住民・企業)

### 「地域協働型大学」

- ・教育・研究・社会貢献の分野で全学的に地域課題に取り組む
- ・「工学心」を持ち、地域課題の解決に取り組む学生を育成